期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	―	―（期間進行基準を採用した業務はしておりません）
	資産見返運営費交付金	―	
	資本剰余金	―	
	計	―	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	7,961,703,677	①当法人は費用進行基準を採用しております。 ②当該業務に係る損益等 一般会計 ア）損益計算書に計上した費用の額：10,554,797,007円 （研究業務費等10,554,797,007円） イ）自己収入に係る収益計上額：3,425,449,349円 （臨床医学事業収益3,225,248,438円、その他の事業収益182,624,569円、その他17,576,342円） ウ）固定資産の取得額：758,430,303円 （建物9,184,147円、構築物7,469,975円、機械装置77,676,931円、医療機械装置10,510,500円、工具器具備品583,599,950円、放射性同位元素1,871,100円、建設仮勘定67,200,000円、ソフトウェア917,700円） 東日本大震災復興特別会計 エ）損益計算書に計上した費用の額：248,088,824円 （研究業務費等248,088,824円） オ）自己収入に係る収益計上額：― カ）固定資産の取得額：108,910,318円 （工具器具備品108,910,318円） ③運営費交付金の振替額の積算根拠 ア）の費用10,554,797,007円×68.59％※＋リース474,382,230円＋エ）の費用248,088,824円＝7,961,703,677円 ※収支予算における運営費交付金収入と自己収入の割合により、経費相当額を運営費交付金収益に計上することとしている。
	資産見返運営費交付金	867,340,621	
	資本剰余金	―	
	計	8,829,044,298	
会計基準第81第3項による振替額		―	
合計		8,829,044,298	

(3) 運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成23年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	―	―（業務達成基準を採用した業務はしておりません）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	―	―（期間進行基準を採用した業務はしておりません）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	73,855,770	○当法人は費用進行基準を採用しております。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、繰越によるものであります。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度以降において、収益化する予定であります。
	計	73,855,770	